

# 白山産アブラムシ類 (1)

富 樫 一 次 石川県農業短期大学

## APHID FAUNA OF MT. HAKUSAN (1)

Ichiji TOGASHI, *Ishikawa Prefecture College of Agriculture, Ishikawa*

白山の植物相はよく調査されているが、そこに生息する昆虫類については、1・2のグループを除いては十分に調査されていない。植物に依存して生活しているアブラムシ類についても同様で、これまでに白山林道沿いで採集された25種が報告された(富樫、1980)のみで、亜高山帯や高山帯に生息する種類については殆んど調査されていない。

今回は、白山登山道の1つ、砂防新道沿いや六万山で採集した樹木寄生のアブラムシ類を主体に報告する。

本文に入るに先だち、種の同定をして頂き、種々ご教示を賜った皇学館大学の宗林正人教授に深く感謝の意を表す。なお、本研究は環境庁の採集許可(許可番号:環自中許第382号)をうけて調査を行なった。

### 目 録

#### Aphididae アブラムシ科

##### 1 *Takecallis arundicolens* Clarke

寄主植物: ネマガリザサ

これまでに記録された本種の寄主植物は次のようである。

ミヤコザサ, チマキザサ, シナノザサ。

##### 2 *Betacallis alnicolens* Matsumura ハンノヒゲナガブチアブラムシ

寄主植物: ヤマハンノキ

ハンノキ類が寄主として記録されている。

##### 3 *Betacallis odaiensis* Takahashi カバヒゲナガブチアブラムシ

六万山で、ヨグソミネバリの葉裏に寄生しているものを採集した。

寄主植物: ヨグソミネバリ (新記録)・ウダイカンバ

これまでにシラカバ, ウダイカンバ, ダケカンバが、本種の寄主植物として記録されている。

##### 4 *Betulaphis japonica* Takahashi ダケカンバケアブラムシ

六万山で、ヨグソミネバリの葉裏に寄生しているものを採集した。

寄主植物: ヨグソミネバリ (新記録)

これまでに寄主植物として記録されたものは、シラカバとウダイカンバの2種である。

##### 5 *Boernerina alni* Takahashi

南龍山荘付近で、ミヤマハンノキの葉裏に寄生していたもので採集した。

寄主植物：ミヤマハンノキ（新記録）

これまでに記録された本種の寄主植物は次の2種である。

ヤハズハンノキ、ケヤマハンノキ

6 *Euceraphis punctipennis* (Zetterstedt) カバワタフキマダラアブラムシ

寄主植物：ヨグソミネバリ（新記録）

これまでに記録された本種の寄主植物は、シラカバ、ウダイカンバ、ダケカンバである。

7 *Euceraphis ontakensis* Sorin オンタケワタフキマダラアブラムシ

寄主植物：ダケカンバ

8 *Symydobiusalniaria* (Matsumura) ハンノブチアブラムシ

寄主植物：ヤマハンノキ

9 *Phyllaphis fagifoliae* Takahashi ブナハアブラムシ

寄主植物：ブナ

本種は、9月末に白山自然保護センター周辺のブナ林で採集されたが、六万山や砂防新道沿いのブナ林からは見出されていない。

10 *Chaitophorus dorocolus* Matsumura ドロハケアブラムシ

寄主植物：ドロノキ

白峰村市ノ瀬の登山センター横のドロノキの葉裏より採集したが、別当出合付近のドロノキからは見出していない。

本種はヤマナラシにも寄生することが知られている。

11 *Chaitophorus abdominalis* Shinji シラカバケブカアブラムシ

六万山の細谷付近のヨグソミネバリより採集されたが、珍しい種類であるという（宗林教授よりの私信による）。

寄主植物：ヨグソミネバリ（新記録）

12 *Periphyllus cariforniensis* (Shinji) モミジニタイケアブラムシ

寄主植物：トチノキ

13 *Periphyllus koelreuteriae* (Takahashi)? モクゲンジニタイケアブラムシ?

寄主植物：トチノキ

前種と同様、トチノキの展葉した若葉の葉裏に寄生していたが、前種に比べ個体数は少なかった。

14 *Platyaphis fagi* Takahashi ブナヒラアブラムシ

寄主植物：ブナ

本種はブナハアブラムシと同様、六万山のブナ林からは見出されていない。

15 *Aulacorthum cirsicola* (Takahashi) アザミヒゲナガアブラムシ

寄主植物：ハクサンアザミ

ヤマアザミ、ノアザミ、コボウが本種の寄主植物として記録されている。

16 *Mindarus japonicus* Takahashi? トドワタムシ?

寄主植物：オオシラビソ

17 *Mansakia shirakabae* (Monzen) シラカバハマキアブラムシ

寄主植物：ダケカンバ

甚之助ヒュッテ近くで、ダケカンバの葉裏に寄生しているものを採集した。

18 *Mansakia* sp.

寄主植物：ヨグソミネバリ

6月中旬、六万山でヨグソミネバリの葉をまき、その内部に寄生しているものを採集したが、寄生を受けた葉は褐変するため、被害葉は直ちに発見し得る。なお、宗林教授の私信によれば、本種は珍しい種であるという。

19 *Epipemphigus niishimae* (Matsumura) ドロトサカフシアブラムシ

寄主植物：ドロノキ

#### Adelgidae カサアブラムシ科

20 *Pineus cembrae* (Cholodkovsky) キタマツカサアブラムシ

寄主植物：ハイマツ

本種の寄主植物としては、アカエゾマツ、チョウセンゴヨウ、ヒメコマツ、ハイマツが記録されている。

### 摘 要

本報では、白山の砂防新道沿いで採集できたアブラムシ類 18 種と、中宮登山道周辺で採集したアブラムシ類 2 種について、その目録と寄主植物を記録した。

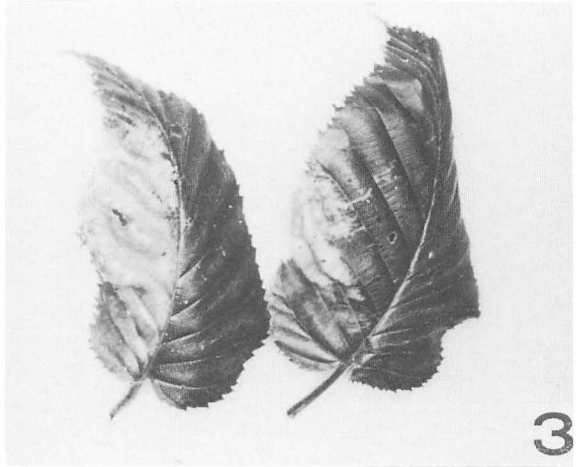
### 文 献

- 1 Higuchi, H. et M. Miyazaki(1969). A tentative catalogue of host plants of Aphidoidea in Japan. Ins. Mats. Supple. 5 : 1-66.
- 2 富樫一 (1980) 白山林道のアブラムシ相. 白山自然保護センター研究報告, 6 : 55-59.

### Summary

In this paper, I report on 20 species of aphids and their host plants occurring in Mt. Hakusan.

Among them, *Chaitophorus abdominalis* and *Mansakia* sp. were rare species.



- 1 ミヤマハンノキの葉裏に寄生した *Boernerina alni*
- 2 ダケカンバの葉裏に寄生した *Mansakia shirakabae*
- 3 *Mansakia* sp. に寄生されたヨグソミネバリの葉 (宗林教授撮影)
- 4 同上, 葉の裏面 (宗林教授撮影)
- 5 *Pineus cembrae* に寄生されたハイマツの毬果